

「第1回安芸太田町教育振興基本計画検討委員会」概要

委員発言

1. **全国学調の結果**
 - 資料の準備への感謝
 - 子どもや先生たちの誇りに思うことの一致
2. **もみじプランからの移行**
 - もみじプランから安芸太田町教育振興基本計画への移行の確認
3. **信頼される学校づくりの課題**
 - 教科の本質に迫る指導についての質問
4. **家庭学習の課題**
 - コロナの影響による自ら学ぶ力の重要性
 - 放課後児童クラブや児童センターの活用の重要性
5. **生涯学習の課題**
 - 少子化や人口減少の課題についての具体策の質問
6. **青少年の活動**
 - 異年齢の人間関係が広がる行事の継続希望
7. **主観的ウェルビーイングの向上**
 - 具体的な施策のイメージの必要性
8. **新しい学びプロジェクト**
 - 授業力向上や協調学習の位置づけの質問
9. **地域資源を活かした教育**
 - 地域資源を活かす重要性
10. **幼児教育の現場の実情**
 - 自然保育の現場での実情と課題の説明
11. **DX 推進と親の関与**
 - PTA 活動への親の関与の重要性と課題
12. **分かりやすい施策**
 - 教育大綱の方向性とわかりやすい言葉の使用の提案

委員の発言は、広範なテーマにわたり、現場の課題や改善点についての具体的な意見が交わされました

委員長発言まとめ:

1. 就任挨拶

- 計画策定に関する調査審議の諮問
- 委員の意見や事務局の提案を議論しながら未来の教育ビジョンを示す意欲
- 委員の教育に対する思いや意見をフリーに話す時間の設置

2. 議事の進行

- 第1期計画策定に係る基本的な考え方等
- 統計から見る安芸太田町の教育に関する状況についての事務局の説明

3. 意識調査の結果

- 資料の2の1の2ページに関する意識調査の結果の質問

4. もみじプランの振り返り

- もみじプランの振り返りについての事務局の説明
- 委員からの質問の受け付け

5. 休憩前の進行

- 第1期計画の骨子案についての事務局の説明
- 委員からの質問の受け付け
- 意見や感想の受け付け

6. 主観的ウェルビーイングの向上

- 施策ではなく目標であるという指摘
- 意見の整理とタイムスケジュールの関係についての議論

7. 委員長の個人的な感想

- 安芸太田町の教育施策の特長
- 自然を活かすことの意義と地域コミュニティの重要性
- 起業家精神や新しい教育視点の提案

8. 具体的な進め方

- 地域での具体化案
- 保護者の意識と自然への触れ合いの両立
- 異集団活動の重要性とイベントの有無

9. アントレプレナーシップ

- 教育機関や地域での実現案
- 大学生の取り組みと教育の視点
- 子どもたちの将来の社会的貢献の育成

10. ICT 活用能力

- DX 推進と ICT 教育の重要性
- 小学生の ICT 活用能力の向上
- 情報教育の現状と課題

11. 生涯学習の計画

- 地域の生涯学習の現状
- 公民館での双方向学習の計画

12. 教育長への要望

- メーリングリストの設置と情報共有
- 個人情報保護の注意
- 意見の共有と次回会議への反映

13. 会議の終了

- 長時間にわたる意見交換への感謝
- 会議の終了宣言

「第2回安芸太田町教育振興基本計画検討委員会」概要

討議における委員意見

- 森のようちえん予算について、現場はすでに新年度の準備行っている。新たな事業が入ると現場が混乱する
- 基本計画のボリュームが多く現場の負担が大きくなるのでは
- この膨大な指標は大変だと感じる
- しょうがいの表記（障害・障がい）町で決めたものがあるのでは
- 加計高校について、今の町内中学生は外（町外）に出る意識が強いのでは、伝統と文化とあるが、神楽など町の伝統文化を加計高校で行うことは現状でできない、そういう特色を基本計画に入れる必要あるのでは
- 教育大綱は策定にあたり、地域を巻き込んで様々な意見を吸い上げていた。
- 基本計画は教育大綱の流れをくむもの。地域が、みんなで子どもを育てていくという意識重要。
- 教育大綱はわかりやすく、優しい言葉で書いている
- 1枚の紙でどう構築されているか示すことも必要では、大綱の文言入れて表現する方法など工夫を。
- これをやるということが分かれば 皆さんに理解できるように

総括的委員意見

- これは国の4期計画がベースとなっているものであり、それを町の現状に合わせて作成されているもので、このボリュームとなるのは致し方ないと思われる。逆に少なくすると、この部分はなぜないのかとなる
- 今後は、この計画をもとに、理解を得るために説明していくというスタンスが必要
- 国の計画が基本であるが、ここまで細かく自治体の基本計画を落としているものは逆に少ない。
- 実施にあたっては、ぐっと絞った取り組み、指標が必要
- ここに至るまでには、検討委員会、アンケート実施、小中学生との意見交換、パブリックコメントの実施など丁寧に行われている。
- 現場や教育委員会事務局の人員も限りがあり、すべてを行うとなると難しいのでは、絵に描いた餅となりかねない。指標はもっと絞ってよい。
- 指標の目標について、例えば人口減している中、参加人数を増やすなどの数値は限界がある。その中で維持していくもの、さらに上げていくものを指標で示す必要がある
- きめ細やかに考えられている計画となっている。
- パブコメでは、わかりづらいとの意見ある。
- 皆さんが興味を持てる基本計画であってほしい
- 言葉は難しいと感じたが、わかりやすさ、優しさ大事に、これを元に落とし込むこと必要

- 自分の足元が大事、グローバル社会の人材育成は、読書力(読解力・語彙力)大事、英語力などをつけるためには、まず母語力教育が大事

検討委員会を受けて今後の対応

- 本会議を受け、基本計画修正について事務局内部で実施
- 修正後、委員長と協議し詳細確認し答申案とする
- 各委員には完成版を後日示す
- 指標について、後日内容別途検討し作成
(別バージョンで示す方向)
- 基本計画策定後、概要版、リーフレット等を作成する。その際、検討委員会、パブリックコメント等の意見を取り入れ、より住民に分かりやすいものとすることを心掛ける。
- 誤字・脱字について今一度確認し修正、
- 標記について【(子供・子ども・こども)(障害・障がい)】は、どの表現が適切か、町で示されている文書も参考に確認